

“Let's act now for the future” “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself !”
 「未来に向けて今すぐ行動しよう」 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

理事メッセージ



2022-2023年度 東日本区理事
佐藤 重良 (甲府21)
京都クラブ75周年記念例会に参加して

11月12日、西日本区の京都クラブ75周年の記念例会に出席させていただきました。

京都クラブ（会員24名・クラブ会長合田太一・40歳・スポンサー大阪・1947年チャーター）がチャーターされた75年前は（昭和22年）日本のワイズメンズクラブ国際協会が戦争のため国際協会から一時脱退していたが復活した直後のことです。1947年は終戦後大変厳しい時期です。国土も身も心も荒廃した時代でしょうから、チャーターメンバーは大変苦労されて立ち上げたと思います。しかし、いち早くYMCAが復興と将来計画を策定されたころ、京都クラブの先人たちは、YMCAのために、地域社会の平和のために、奉仕しなければと強い情熱と希望を持って、新クラブを立ち上げたと思います。

それから75年の現在、伝統が継続されておりました。75周年の記念行事として、YMCAの子供たちのために、既存の京都リトリートセンター内に「どろんこ広場造り・屋外シャワーセットの設備等」の工事の奉仕と整備工事を行い、YMCAにプレゼントしておりました。子供たちも父兄も、YMCAの職員・スタッフさんも、みんな清潔で安心して遊べる「どろんこ広場」が出来て大喜びと思います。他の事業として、保育園のサポート、クリスマスの飾り付け、三条まつりの手伝いなど他にもたくさんYMCAが出来ないことを京都クラブが活発にCS・Yサ活動として実施されているとのことでした。75周年記念例会の会場はANAクラウンプラザホテル。18時に開会し、祝賀会の終了は21時でした。出席者の多くは京都部（会員概算500名）の関係者と思いますが、参加者が310名位と推測されました。そこで感じましたことを申し上げます。記念例会の会場が京都でもトップクラスのホテルであること、参加の会員は40代50代が多いこと、京都クラブ会長も40歳、会場の参加者は若い人が多く、いきいきと活気がありました。京都部約500名の内60%の約310名が出席されておりました。団結力なのでしょうか、強い絆が感じられます。EMCの事業として50歳以下を重点に入会募集、会社の関係・取引先などにも声掛けして入会を促進しているようにも聞きました。会員募集にも特色ある活動が行われているようです。京都部では今年度も新クラブが1クラブ誕生、今後さらに2クラブ誕生するようにもお聞きしました。東日本区としても、京都部のクラブとDBC締結などを促進し、情報交換をして、拡大する京都部のEMC活動・CS・Yサ活動から、多くを学び会員増強の成果を出すこと、CS・Yサ活動の活性化もしなければと感じました。

東西日本区交流会・2023年2月4日・5日
神戸にて開催 登録受付中 詳しくは HP をご覧ください <https://www.tozaikoryu.com/>

12月8日 「祈りの輪」の日 とは

12月8日は、ワイズメンズクラブおよびワイズメンズクラブ国際協会の創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの誕生日です。

この日は、これを記念して世界中のワイズメン、ワイズメネットが、それぞれの国の時間の午後8時に、共に祈る時を持って地球上に輪をつなぐ「祈りの輪」の日です。

ワイズメンズクラブが存在する国では、オーストラリア東部の午後8時に始まり、2時間あとに日本、4時間あとにタイ・バンコク、5時間半あとにインドの各地、10時間あとにスイス・ジュネーブ、16時間あとにニューヨーク、最後は、21時間あとにハワイでと、それぞれの地の午後8時に、心をひとつにして祈ります。

祈りは、キリスト教の祈りに限りません。それぞれが、それぞれの形で、世界の平和を、世界の人たちの健康をそしてそれぞれの思いを祈るひとときを持ちませんか？

是非、12月8日午後8時、祈りの輪を持ちましょう！

東日本区理事 佐藤 重良

目次

佐藤理事メッセージ	1
祈りの輪について	1
次々期理事および行政監事候補者推薦のお願い	2
アジア太平洋地域議会	2
キリスト教理解	2
北東部大会 12月3日	3
次期部長・事業主任研修会 12月4日	4
先達をおぼえて	4
会員増強主任より	5
地域奉仕・Yサ事業主任より	5
国際・交流事業主任より	5-7
ユース事業主任より	8
クラブ探訪「東京多摩みなみクラブ」	9
国際会長より	10
12月1月の予定	10
東日本区会員増強目標について	11
YMCA報告	12
東日本区事務所便り	13
YESについて 参考資料	14-15
第3回東西日本区交流会 チラシ	16
子育て講演会 チラシ	17

次々期理事および 次期行政監事候補者 推薦のお願い

2023-2024年度次々期理事候補者および次期行政監事候補者推薦のお願い

2023-2024年度の次々期理事候補者（理事任期 2025 年7月～2026 年 6 月）および次期行政監事候補者（任期2023年7月～2025 年 6 月）の推薦をお願いいたします。

推薦されるクラブ会長は、別途クラブ会長宛に送付の推薦書をメール添付、ファックスまたは郵送で、2023年2月28日までに大久保知宏区役員候補者指名委員会委員長（直前理事・宇都宮）にお送りください。

▶t.ookubo@hh.fujii.co.jp（大久保委員長）

アジア太平洋地域議会

11月4日に開催された、アジア太平洋地域議会での承認事項は次の通りです。

1. アジア太平洋地域大会は、2023年11月3日～5日、香港で開催されます。

2. アジア太平洋地域ユースコンボケーションは、前項とは別に、8月中旬もしくは下旬頃、ネパールのボカラで開催されます。

[アジア太平洋地域書記 前田香代子]

東日本区 書記からのお知らせ

【常任役員会報告】

東日本区書記 清藤城宏
11月18日（金）19時から21時10分、Zoom によるオンライン会議で常任役員会が実施されました。出席者は、常任役員5名、監事2名、理事からの出席要請者11名。ワイズとYMCAのパートナーシップを強くするために、東西日本区交流会について、2024-2025年度理事指名について等が話し合われました。次回は、12月15日に開催されます。

【臨時役員会報告】

11月20日～23日、グーグルフォームで議案「2024-2025年度東日本区理事指名の件」として山田公平氏（宇都宮）指名の投票が行われました。投票者14名中、賛成13名、反対1名。過半数の賛成をもって、議案は、承認可決されました。

CEキリスト教理解

今月の強調月間「キリスト教理解」

東日本区書記 清藤城宏（甲府21）
私達のワイズメンズクラブは、他の奉仕団体と異なっております。その特徴の一つは、国際憲法と東日本区定款に明示されている「イエス・キリストの教えに基づき、イエス キリストの愛と奉仕の実践を目指す」ということです。「イエス・キリストの教えに基づき」とは、ワイズメンは、イエス・キリストが教えられたことを受け入れることを意味し、またイエス・キリストの教えをワイズメンが実際の行動に移すよう心掛けることを意味します。イエス・キリストの教えは、ワイズメン全体の意志決定のための、クラブならびに国際協会の運営のための、さらにワイズメン個人の日々の生活のための、指針となるものです。新約聖書マタイによる福音書22章37～40節には、当時の聖書の専門家から、聖書の中で最も大切な戒めは何か、とイエス・キリストが問かれた時に答えられた言葉「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である 主を愛しなさい。」これが最も重要な第一の錠である。第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。」律法全体と預言者は、この二つの錠に基づいている。」と記されています。ワイズの信条の1.は、この箇所からきております。多くのクラブのブリテンは、今月の聖句（聖書の言葉）を載せておりますが、イエス・キリストの教えられたことを知り、その教えを理解するためにはとても大切なことです。また聖書を手元に一冊置いておくのが良いでしょう。しかし、自分の救い主として受け入れるという信仰を強要するものではありません。「信じるか、ではなく、愛するか」です。12月はイエスキリストの誕生を祝うクリスマス。クリスマスChristmasとは、キリストChrist、礼拝masという意味です。クリスマスに一度礼拝に行ってみるのもキリスト教理解の一助として良いのかもしれない。

【臨時代議員会開催のお知らせ】

この度区役員候補者指名委員会より指名がございました。2024-2025年度東日本区理事

山田公平氏（宇都宮）

この指名の議案は、11月23日に臨時東日本区役員会で承認されました。ワイズメンズクラブ国際協会東日本区臨時代議員会として郵送による決議を行うこととなりました。投票は12月11日までと致します。

国際選挙のお知らせ

- ・2023-24 年度次期国際会長および同年度次期国際会計
- ・アジア太平洋地域選出次期国際議員（次々期アジア太平洋地域会長）

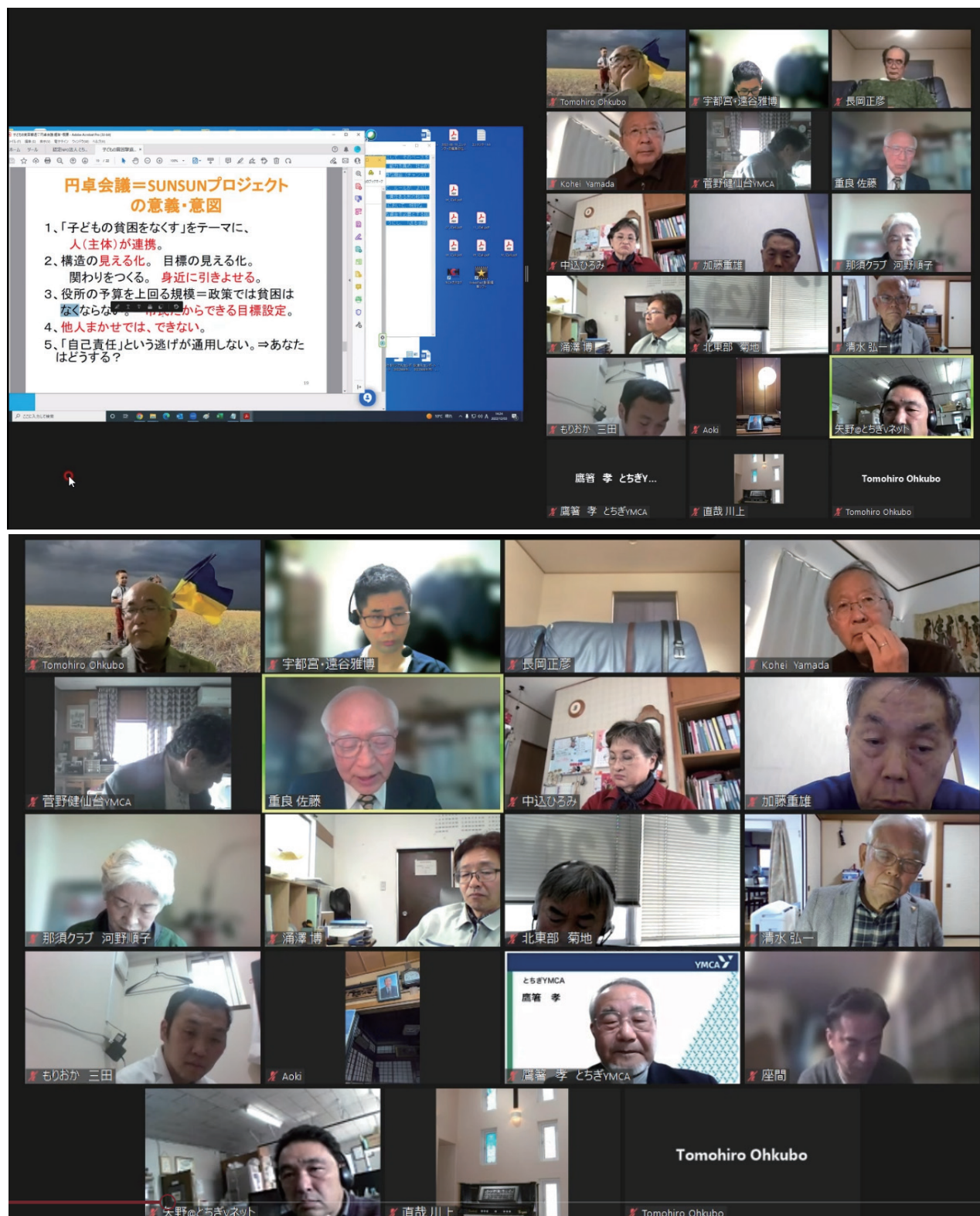
○投票期間：2022 年12 月16 日～2023 年1 月30 日

○投票権のあるクラブ会長は必ず投票を！

▼投票方法について疑問のある方は書記までお申越下さい。

北東部 部大会 12/3開催

2022年12月3日（土）13時から昨今のコロナの流行を踏まえZoomにて北東部部大会が開催されました。当日は19名が参加。ご来賓のとちぎYMCA鷹簀理事長、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区佐藤理事のご挨拶、各クラブの活動報告を行った後、会員増強をテーマにクラブ活性化のヒントとしてNPO 法人とちぎボランティアネットワーク理事長の矢野様による子供の貧困撲滅に向けて栃木県の事例のご講演や会員増強についての論議が行われ、YMCAの維持会員数拡大の支援を通じたクラブの会員増強などの活発な論議が行われました。



次期部長・事業主任研修会

12月4日(日)リモートで次期部長・事業主任研修会が開催されました。ワイズメンズクラブをとりまく激変する情勢に触れ、山田公平次期理事(宇都宮)から次期方針を聞きました。その中で考えを示した東日本区改革案を巡り、小グループで理解を深め、意見を積み重ね、最後に山田次期理事が全体の質問に答える形で運動を強力に進めていく決意を表明しました。



2022-2023年度 次期部長・事業主任研修会

日時 12月4日(日) 14:00~18:15

開催方法 Zoomによるオンラインミーティング

研修会は2部構成で行われました。

研修1では現況把握をするために、アジア太平洋地域利根川恵子次期会長、日本YMCA同盟大澤篤人担当主事そして東日本区佐藤重良理事から東日本区現況について話を頂きました。そのうえで、国際協会ASF国際事業主任田中博之メンより「戦略2032」について解説戴きました。最後に山田次期理事から「2023-24年度に向けて」としての基調方針説明がありました。

研修2では、小グループ(4人~8人)に分かれて討論を行いました。ファシリテーターとしてLT委員会のメンバーが各グループに加わったうえで、山田年度方針について、活発な意見が飛び交いました。

12月4日 次期部長・事業主任研修会

- 必要な情報の習得
- 次期理事方針の提示と検討

終了

12月21日 次期事業主任ワークショップ

- 現事業委員会の活動の進捗状況の把握と次期事業主任方針の検討
- 次期理事方針の充実に向けた検討

1月26日 次期部長ワークショップ

- 各部の現状把握
- 次期理事方針・次期事業委員会活動計画と次期部長方針に向けた意見交流

先達をおぼえて

私が理事に就任してから、これまで3人のお仲間が召天されました。それぞれのクラブにおいて、またワイズメンズクラブ全体において、大きなお力添えを戴いておりました。ここに故人のお名前を挙げさせて頂き、お別れの挨拶にかえさせて頂きたく存じます。

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事
佐藤 重良

谷治 英俊様 東京町田コスモスクラブ
10月27日(享年80)

布上 征一郎様 東京グリーンクラブ
11月13日(享年80)

篠澤 忠彦様 東京北クラブ
11月14日(享年91)

会員増強事業

会員増強事業主任 佐藤節子

目の前のチャンスをつかみましょう！

みなさま、会員増強にいつもご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、早いもので9月1日から始まった「会員増強100日間キャンペーン！」は、12月9日であったという間に終了です。

「会員お一人ひとりが、お一人をお誘いすれば安泰です」は数の上では理想的です。が、現状の厳しい中、それでも、少しずつ皆様のご努力によりお仲間が増えていきます。まことに嬉しく思います。有難いことです。

会員増強純増60名を達成して2023年7月には830名を目指します。目標は、一步一步の積み重ねです。Aプラン、Bプランのリストアップを今一度ご確認いただきまして、是非とも、目標成果に近づいて欲しいと願っています。

「楽しくなければワイズじゃない」とも言われています。多種多様な価値観の違いの中での「楽しさ」の追求を、個性豊かなワイズで実践するのもいいものです。

新しいお仲間、復活するお仲間を笑顔でお迎えして、ともに楽しむ。考えただけでもワクワクいたします。卓話者として招く、イベント、例会等々、あらゆる手段を使って、ドンドンお誘いしましょう。ダメもとで結構、まずは、お声かけからです。ゆっくりとあわせて、会員増強に、お力をお貸しくださいませ。チャンスは目の前です。

地域奉仕・YMCAサービス事業

地域奉仕・Yサ事業主任
小山 久恵

◇CS（地域社会奉仕）

各クラブは、区のCS資金の募金活動に参加すると共に、関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕活動の実践を心がけましょう。地域社会の、近隣社会の隣人への奉仕活動と言えます。

◇その他のCS活動

環境問題とSTOP!HIV/AIDSもCS活動の一部として行われています。

また、9月にはWorld Clean up Dayを行い、皆さまに協力していただきました。

次回は4月に、大々的にWEEK 4 WASTEが行われます。ぜひ多くのクラブの皆さま方、個人でも結構ですのでご参加く

ださい。

◇YMCAサービス

YMCAへの直接の奉仕を立案し、実行することです。YMCAへの奉仕、支援はワイズメンズクラブの最も重要な目的です。

米国のYMCAの中に生まれ、YMCAのサービスクラブであるワイズメンズクラブにとってYMCAサービスは、最も歴史のある事業です。

YMCAサービスは、YMCAへの奉仕という面のみならず、YMCAの働きの魅力をクラブに持ち込み、ワイズメンに紹介する面での役割も重要です。実際には、各センターで行われるチャリティランやバザーのお手伝い、駅頭での募金活動は、ワイズメンズクラブがYMCAのお手伝いをしている顕著な例です。

国際・交流事業

国際・交流事業主任 利根川太郎

12月月間強調テーマ「IBC」

IBC(国際兄弟クラブ)で豊かなクラブライフを

IBCは、異なる国にある2つ以上のクラブがパートナーシップを締結し、国際的な親睦と協力のために力を合わせるプログラムです。IBCとの交流によって、より豊かなクラブライフを楽しみませんか。

さらに、IBCパートナーシップは、国境を越えたエクステンション(EBB)運動を通じて新しいクラブを生み出すことも可能です。

現在51の国と地域で、432クラブがIBCを締結しています。内訳は、2クラブでの提携が367件、トライアングル(3クラブの提携)が48件、クワドラングル(4クラブの提携)が10件となっています。

昨年度(2021-2022年度)は、全世界で新たに20件のIBC締結がありました。残念ながら東日本区は締結がありませんでした。ぜひ、100周年の今年度は東日本区でもIBC締結が行われますように期待いたします。IBCの締結にご興味のあるクラブは、国際・交流事業主任までお

問い合わせください。

なお、IBCの一覧表が新しい形式になり、国際
のウェブサイトに掲載されました。

[https://drive.google.com/-
file/d/1g3M3bp-8bbmTqLxZq8bfJkWMX-
11xRASp/view](https://drive.google.com/file/d/1g3M3bp-8bbmTqLxZq8bfJkWMX-11xRASp/view)

ぜひご覧いただき、ご自分のクラブのIBCに間
違いが無いかご確認ください。

クラブ名のアルファベット順に記載され、例え
ば川越クラブの場合は、以下のようになっています。

Kawagoe Y's Men's Club(Japan)
Asia Pacific Area | Japan East Region
Brother Club (Ref:B-3554-4911)

Club 2 | Salem (United States)

間違いがあった場合、記載漏れの場合は、国際・
交流事業主任（利根川）までお知らせください。

BF献金 2021-2022年度国際表彰受賞クラブ

BF(Building Fellowship)の2021-2022年度の
献金に対しての国際表彰が発表されました。東
日本区では、以下のクラブが受賞されました。
おめでとうございます。今年度も各クラブの皆
さまのご協力をよろしくお願いいたします。

○アルフ・レイノルズ賞 (Alf Reynolds Awards)

1人あたりのBF献金金額(現金および切手)によ
り、第1レベル～第5レベルのバナーパッチが授
与されます。

第1レベル：クラブメンバー1人あたり5～9ス
イスフラン、かつクラブとして75フラン以上の
献金

石巻広域、松本

第2レベル：クラブメンバー1人あたり10～24
スイスフランの献金

十勝、もりおか、東京江東、千葉、東京グリー
ン、埼玉、東京北、所沢、川越、東京、東京む
かで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東
京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府
21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、
長野、横浜、鎌倉、横浜つづき、横浜つるみ、
熱海、沼津、伊東、熱海グローリー、富士
(第3レベル～第5レベルは、東日本区に該当ク

ラブはありませんでした。)

○アニー・ベル賞(Ernie Bell Award)

使用済み切手の売却金額による献金額の世界上
位10クラブにバナーパッチが授与されます。

第3位 仙台

第5位 沼津

第6位 東京八王子

第9位 長野

第10位 東京サンライズ

○トップテン賞(Top Ten Award)

BF献金額(現金、切手)の世界上位10クラブにバ
ナーパッチが授与されます。

第4位 甲府21

第9位 熱海

▶IBCについて 東日本区でのIBC状況

札幌・TAICHUNG TAIWAN

十勝・SOUTH OAKLAND USA /

台北ダウントウン (台湾) /

札幌北・ミンドレ (韓国) / ウィルシャ

ー (米国) / カリヒ (米国ハワイ)

仙台・LINKOPING SWEDEN /

Chyncheon Omega Korea

宇都宮・MONTEREY PENINSULA U.S.A /

Bengaluru R.T.Nagar(インド) / Bryansk(ロ

シア) / Bengaluru Jayanagar(インド)

東京江東・大邱 (韓国) / 台中エバーナイス

(台湾)

千葉・PUSAN CENTRAL (KOREA-E) 韓国

東京グリーン・Manila Downtown, Philippines

東京北・WALLAWATTE SRILANKA

東京ひがし・PUSAN BEACH KOREA

川越・SALEM OREGON USA

東京・Bendigo (Australia) / HongKong

〈China〉 / Seoul 〈Korea〉 / Taipei Alpha

〈台湾〉 / Hilo 〈Hawaii, USA〉

東京むかで・STOCKHOLM-BROMMA

(SWEDEN)

東京世田谷・KAIMUKI (HI.H) USA

東京町田コスモス・SILVER STATE Y SER

VICE CLUB (マレーシア) / ベルバクティ

KL クラブ (マレーシア)

東京センテニアル・金海（韓国）
 甲府・TAINAN（台湾）
 東京西・TAEGU JUNG ANG(E.)KOREA/
 TAIPEI CENTRAL TAIWAN
 東京武蔵野多摩・Tsim Sha Tsui（Hong
 Kong）/Seoul Han Yang（Korea）
 松本・Yaoyuan Taiwan（台湾）
 東京サンライズ・TAIPEI UNION（台湾）
 甲府21・ADELAIDE（オーストラリア）
 東京八王子・Kaohsiung The Port（台湾）
 横浜・BETA CHAPTER SINGAPORE/
 KEELUNG TAIWAN/ BANGKOK/
 WELLAWATTE SRI LANKA
 熱海・YEO SU（韓国）/TAICHUNG（台湾）
 PUSAN ALFA（韓国）/ MANILA
 DOWNTOWN PHILIPPINES
 沼津・Cheongju-Seowon(W.)（韓国）/
 Hyderabad Club（Central India Region）
 INDIA
 熱海グローリー・ナイロビ（ケニア）/台北ア
 ルファ（台湾）
 御殿場・台南（台湾）
 富士・バンコク



台湾



シンガポール



韓国



中国



フィリピン



ロシア



オーストラリア



スウェーデン



アメリカ



タイ



インド



スリランカ



シンガポール



マレーシア

YMI100周年記念祝賀会は 2023年3月10日(金) - 12日(日)です。



少しずつ世の中が落ちつき始めているかもしれません。2023年3月10日～12日にYMI100周年記念祝賀会が台北で開かれます。登録がスタートしています。パスポートの確認など、お申込から時間がかかります。早めの登録をオススメ致します。

<http://ymi-100.org/>

ユース事業

2022-2023年度ユース事業主任

衣笠 輝夫

1. 第22回日本YMCA大会での報告

11月25日～27日に東山荘で行われた第22回日本YMCA大会で、全国のYMCAでも珍しい、中央大学YMCA（ひつじぐも）と東京八王子クラブの協力関係の事例を事前インタビュー動画で紹介することができました。中央大学学Y委員長の関口遼さんからの活動紹介とタイ・チェンマイで行われたワイズメンズクラブ主催の第18回インターナショナルユースコンボケーション（IYC）派遣の伊藤瑠南さんと峯尾心さんの報告がありました。約20年継続している中央大学学Y（ひつじぐも）と東京八王子クラブの協力関係は他に例を見ないものです。お互いに継続する強い意志があるからこそ、これまでの協働が出来たのだと思います。素晴らしいことだと感じています。

今回のIYC派遣は2つの特徴・今後へのターニングポイントがありました。

(1)派遣されたユースは東西日本区から6名でしたが、その内3名が都市YMCAのユーススタッフだったので、都市YMCAと学Y、ワイズメンズクラブとユースの交流、相互理解をよくできたと思います。今後もこのような形で参加していただき相互交流ができたと思います。その理由は都市YMCAでは学Yとのパイプが少ないところが多く、もっと都市YMCAと学Yとの相互理解が必要だからです。

(2)通常、IYCはワイズメンズクラブ国際大会と同時期に行われるが、今回はIYC単独で行われました。英語に不安を持って参加するユースが多いのですが、今回は国際議員の利根川恵子さんに往路の飛行機から現地活動、復路の飛行機まで伴走いただきました。ユースは大変心強かったのではないかと思います。ここでもユースとワイズメンズクラブの交流・相互理解ができたのではないかと思います。次回のユースコンボケーションも単独開催の予定ですが、ぜひワイズメンに伴走いただき、ユースとの相互理解・交流を深めたいと思います。

2022/11/12

東京八王子クラブ例会:中央大学 学Y活動インタビューとIYC参加者2名の報告



2022/11/17 東京江東クラブ例会:

34回YVLF参加者および全国リーダー研修会参加の報告



【プランター野菜講座はこうして生まれ進化してきた】

プランター野菜講座の生い立ちと狙い

2020 年に入り新型コロナウイルス感染症が、突然日本に襲来し、恐怖と外出制限の毎日が始まりました。ワイズの活動も様変わりしました。しかし、Zoom が、思わぬドラマを生み出しました。もともと構想としてあったリアルプランター野菜講座をオンライン講座に組替えできないか。2 回、3 回と試行を繰り返し、その年の秋に第 1 回講座を試行的に立ち上げました。その後、野菜作りの楽しさだけでなく、ボランティア活動と一体化できないかと考え、出口を模索しました。実費ベースで参加費を頂戴しますが、講座の運営は、ボランティアで支える。実費以外の支出は極力抑え、その残金をプールして地域で奉仕活動に取り組んでいる NPO 団体を「寄付」で支えるというチャリティー講座として進めることを参加者みんなで共有しました。

【主催クラブと講師と裏方と】

東京多摩みなみクラブが主催し、所属する、地元恵泉女学園大学教授の藤田智さんが講師を務めます。NHK 教育テレビの「趣味の園芸」「やさいの時間」を十数年来担当されています。人気番組です。裏方（事務局）でサポートするのは、自クラブのメンバーと近隣クラブの方々と友人です。

【講座参加者の顔ぶれ】

参加者は、ワイズの仲間とその友人たちの集まりです。北は十勝クラブから長野クラブ、三島クラブ、首都圏近郊の各クラブから 30 人前後が参加しています。クラブの中から他のワイズを誘い出し、仲間が増えていくクラブもあります。友達の輪が広がり、将来のワイズの仲間につながってくれればと願っています。

【講座の進め方】

主催クラブで綿密な打ち合わせやリハーサルを経て今の形が出来上がりました。講座は、Zoom を使ってオンラインでつながり参加者の PC やタブレット、スマホの画面でリアルタイムの多方向のコミュニケーションが可能です。講座が始まる前の数分間でお互いの近況や苦労話など四方八方からの相互コミュニケーションの時間があります。進行役が講座の運営を担い、毎回のテーマ野菜の講義からスタートし、種や苗の植え付け方、水やり、追肥、間引き、害虫防止などの栽培方法を教わります。次に、参加者から各自の野菜の生育写真をメールで送ってもらい、事務局がアルバムに編集して講師の藤田智さんが、一人一人、1 枚 1 枚の写真を見ながらワンポイントレッスンをしてくれます。褒められたり、ダメ出しを食らったり、色々なアドバイスをいただきます。お互いの写真を見比べ、悲喜こもごもの時間を共有します。これが、学びの場になっています。一通りレッスンが終わり写真を送れなかった参加者や聴講参加者にも Q&A の時間を設けています。何だかんだで、1 時

クラブ探訪 東京多摩みなみ

間 20 分の時間はあっという間に来てしまいます。長からず短からずがお手頃です。

【社会貢献の実績】

各回の講座の最終回に、講座全体の収支報告を Zoom 画面で報告します。余剰金の中からささやかですが、東京 YMCA および地元で高校卒業認定資格取得受験者への無料塾「慈有塾」を運営する NPO 法人とデイケアを営みつつフードパントリー「あらあら」、子ども食堂「ほくの家」を運営する NPO 法人に参加者全員の気持ちとして「寄付」お届けしています。前回の実績は、東京 YMCA 3 万円、慈有塾 1 万円、ほくの家 1 万円となっています。わずかに残った分は、クラブの運営費に充当しました。「慈有塾」や「ほくの家」には、自クラブが運営する「ぼんぼこ農園」で栽培した新鮮野菜を、困窮する学生やご家庭の食材の足しにとお届けしています。

【ボランティア活動とチャリティー講座をつなぐもの】

「ぼんぼこ農園」の運営に続くクラブ活動のもう一つの柱が、プランター野菜講座です。7 年にわたるワイズの活動を通じて常に考え模索してきたことは、「ボランティア活動って何だろう？」でした。試行錯誤と苦闘の中から出てきた「答え」が、「思い」を伝える側と受け取ってくれる側がともに「感動」したり、「達成感」を味わえる瞬間を共有することではないかということでした。この講座が、コロナ禍の申し子ともいえるべきオンラインチャリティー講座になれたのは、主催する側と参加する側が一体となり、「野菜作りの楽しさ」と「社会貢献活動」をリンクさせ、困っている人への「思い」を伝える。win-win の関係や“well-being”（よくなっていく）をともに味わえる新たな居場所、バーチャル空間を生み出したことではないでしょうか。この活動を今後とも持続発展させ、願わくばワイズの中に同じようなイベントが立ち上がることを切に願っています。

寄稿・東京多摩みなみクラブ
石田 孝次



国際会長ニュースより 2022.12

他者に幸せを与えることは、
偉大な慈善行為です

Ralph Waldo Emerson reminds us that

‘The purpose of life is
not only to be happy.
It is to be useful,
to be honorable, to be compassionate,
to have it make some difference
that you have lived and lived well.’

◆ラルフ・ウォルドー・エマーソンは、
次のことを思い起こさせてくれます。

「人生の目的とは
幸福であることだけではない。
役に立つことである。
名誉であり、思いやりがあることだ。
自分が生きたこと、よく生きてきたこ
とに、違いがあることだ」

クリスマスの素晴らしさと
新年の幸福を祈りつつ

国際会長
K・C・サミュエル

12月・1月の予定

12月・1月の予定

12月強調月間 キリスト教理解・IBC

12月3日 北東部部大会 **終了**
12月4日 次期部長・事業主任研修 **終了**
12月8日 「祈りの輪」の日
12月21日 時期事業主任ワークショップ

1月強調月間 EF JEF

1月7日 在京ワイズ合同新年会
1月10日 各クラブ後期半年報、部長宛て提出
1月15日 各部長後期半年報を会員増強事業主任
宛提出
1月20日 東西日本区交流会申込締切
(2月4日、5日神戸)
1月26日 次期部長ワークショップ
1月31日 後期区費請求書発送



メリークリスマス

第26回ワイズメンズクラブ東日本区大会
2023年6月3日・4日

かふふ・く

実行委員長

荻野 清

甲府21ワイズメンズクラブ会長

廣瀬 健

修正2022・11・30

作成2022・10・31 佐藤 AH53/U

東日本区 会員増強目標について

2022・9月1日から2022・12月9日
「会員増強 100日間 キャンペーン実施中」

59クラブの目標

1クラブ当り2名の増員
 $110/59=1.89 \dots 2$ 名

EMC事業委員会作成・推進中

推進手順・・・①A・B・Cチーム編成し・・・②入会候補者リストアップ・・・③入会促進

東日本区として 年間60名の増員を掲げて活動しております



部	会員数	%	実績		目標		A案 22-23目標・合計				B案 22-23目標・合計			
			22-23・7月 ～10月		22-23・11 月～6月		22-7月～23-6月				22-7月～23-6月			
			入会	退会	入会	退会	入会 (昨年)		退会 (昨年)		入会 (昨年)		退会 (昨年)	
北海道部	45	6	0	0			3	(1)		(1)	2	(1)		(1)
北東部	129	17	2	0			23	(8)		(14)	19	(8)		(14)
関東東部	129	17	3	0			30	(10)		(13)	23	(10)		(13)
東新部	80	10	2	0		117名	23	(8)		(12)	19	(8)		(12)
あずさ部	170	22	11	2			31	(11)		(12)	26	(11)		(12)
湘南・沖縄部	83	11	0	0			15	(5)		(4)	12	(5)		(4)
富士山部	134	17	2	0			12	(4)		(21)	9	(4)		(21)
	770	100	20	2	117	75	137	(47)	77	(77)	110	(47)	50	(77)
			実績+18名		今後+42名		増員目標+60名				増員目標+60名			



10月末 788 年度末830

入会昨年比 $137/47=2.91$
退会数 昨年並みの場合
入会137名の増員必要

入会昨年比 $110/47=2.34$
退会数50名の場合
入会110名必要

59クラブの目標

1クラブ当り2名の増員
 $110/59=1.89 \dots 2$ 名

会員増強の基本的な考え方

①純増60名を達成したい 770名 + 60名 =830名 (2023.7.1着地目標)

②そのために、

まずは退会者を減らす。(昨年退会者 77名→ 50名におさえる)

次に 各クラブ2名の増加

③770名 - 50名 (減少) + 59×2名 =838名>830名

YMCA報告

東日本区担当主事
日本YMCA同盟

大澤 篤人



1. ウクライナ関係

■東京YMCA ウクライナ支援活動報告会 (12/14)

ウクライナYMCAとオンラインでつなぎ、現地の様子や支援活動など近況を伺います。

日 時：12月14日(水) 19:00~20:30

参加費：無料 (日本語通訳あり) *どなたでも参加可。申込み：12月7日までにこちらに入力

⇒ <https://bit.ly/3Ti4EbY>

2. 世界のYMCAのトピックス

■パキスタンで救援活動続く

パキスタン北部のラホールYMCAは、夏以降続いている洪水に対し、食料等の救援パッケージを配布しているほか、家畜を失うなどして失業した方々へ職業訓練トレーニングを提供しています。

■アジア・太平洋YMCA同盟主催

「グリーンアンバサダー・トレーニング」

深刻化する気候変動の問題について学ぶため10月3日~7日、タイのチェンマイYMCAを会場に研修会が行われました。ラオス、ミャンマーなどアジア12カ国から30人が参加。日本からは東京YMCAの池田麻梨子さんが現地参加、日野絵里子さんがオンラインで参加しました。

3. 日本のYMCAのトピックス

■インターナショナル・チャリティーラン ~各地で開催~

- ・とちぎYMCA 10月9日、道の駅ろまんちっく村で開催。ランナー172人、スタンプラリー102人、ボランティアや来場者を含め総勢535名が参加。様子がとちぎテレビでも放映されました。
- ・東京YMCA 10月15日~10月30日オンラインで開催。1044人が参加しました。総歩数は1億797万6,364歩。距離に換算すると75,583km。地球約1.9周を歩いたことに。
- ・横浜YMCA 10月15日に臨港パークで開催したほか、10月17~31日にはオンラインで開催しました。オンラインサイトには、各チームのコメントや紹介が多数投稿されており、盛況だった様子が伺えました。
- ・奈良YMCA 10月23日、奈良市の平城宮跡で開催。260人が参加しました。特別ゲストランナーとして元オリンピック400メートルリレー日本代表の江里口匡史さんも来場。奈良新聞にも掲載されました。
- ・千葉YMCA 10月29日、4年ぶりの開催。待つ

てましたとばかりに申し込まれた団体もあり、障がいの有無、国籍、性別、年齢などを乗り越えた大会となりました。

- ・埼玉YMCA 11月3日、所沢航空記念公園野外ステージを会場に、3年ぶりの会場開催が実現しました。気持ちの良い秋晴れに恵まれ、感染対策をとりながら再会を喜び合いました。
- ・名古屋YMCA 11月5日の会場開催と10月1~30日のweb開催の2本立てで実施。300人が参加しました。支援を受けた子どもたちが大人になり、一般参加として走ったケースもありました。来年は第30回となります。

■第53回全国YMCAリーダー研修会

6月、9月、11月の3部構成で行われた『第53回全国YMCAリーダー研修会』。最終日の11月3日には、オンラインでの発表会が行われ、全国15のYMCAユースリーダーがそれぞれ「私たち若者が、YMCAを通して、かなえたいこと」について発表。

■Amazonみんなでサンタクロース(12/24まで)

一昨年より年末シーズンに、Amazonのサイトから支援のプレゼントを呼びかける「みんなで応援」のサンタクロース企画が今年もAmazonより発表されました。協働する全国のYMCAでは、一斉に「子ども達へのプレゼントリスト」を準備中。プログラムを通じて支援の輪を広げています。

<https://www.amazon.co.jp/b?ie=UTF8&node=8443136051>

■ECGL (English Camp for Global Leadership) 中高生対象 12/26-28

英語でのコミュニケーションの楽しさを知り、グローバルな課題に目を向け、地球市民の育成をめざす恒例プログラム。2020年度からはオンライン開催でしたが今年は「YMCA東山荘(静岡県御殿場市)」と「ユースセンターうしまど(岡山県瀬戸内市)」の2カ所を結んで実施の予定。

4. 日本YMCA同盟からのお知らせ

■第22回 日本YMCA大会

11月25日~ 27日に、2年に一度開催される日本YMCA大会が“refocus the YMCA”をテーマに東山荘でハイブリッドで開催されました。現地参加者は200名でした。

今大会は、ユース参加者が4割以上を占め、実行委員も全員がユース。テーマ「refocus the YMCA」も実行委員が決めました。コロナ以前のYMCAを知らないユースも、共にブランディングに立ち回り、世界規模の取り組みから日常のプログラムまで、国内外の多種多様な活動を学びながら、さまざまな視点でYMCAの今を見つめ直しました。

ウクライナ募金についてのお願い

異国で正月を迎えるウクライナの方へ
今ひとたびのお願いです

「ウクライナ募金」について
[東日本区の口座へ振込いただく場合]

- ◆振込口座
ゆうちょ銀行からの場合
ゆうちょ銀行
口座記号番号 00110-0-362981
他の金融機関からの場合は、振込者の名前しか記載されないののでゆうちょ銀行からの送金に統一致します。
- ◆振込取扱票（ゆうちょ銀行）への記入方法
 - ①「おなまえ」欄
個人の募金者・氏名を記入（カッコ書きでクラブ名を記入）献金者が誰かを特定
クラブの場合・通信欄に「〇〇クラブの献金」と記入ください。
 - ②「ウクライナ」と通信欄に記入ください。

2022年12月31日まで実施中

子育て講演会のご案内

東京YMCAが主催する 東京YMCA第17回子育て講演会が、来る2023年1月28日（土）午前10時~12時の間オンライン配信にて開催されます。

この子育て講演会について、**巻末のチラシ**をご覧ください。是非とも受講（無料）をご検討ください。

対象：保護者・教育関係者・地域関係者・学生

参加費：無料

テーマ：「いまどきの子育てで大切なことー幸せ子育てのコツー」

子育てを通して保護者も笑顔になってほしい、参加者が心穏やかに安心感を得る会にしたい。コロナ禍での子育てを糧に、これからの子育てを考えていきたい。

詳しくはチラシをご覧ください。

東日本区事務所便り

今年一年大変お世話になりました。

東日本区事務所は、次のとおり年末年始に休所致します。

事務所は年内は、12月28日（水）迄、年始は、1月6日（金）から開所致します。

（12月29日（木）～1月5日（木）の間は休所となります。）

急ぎの件がありましたら、携帯までどうぞ。

東日本区事務所長 小林 隆

入会者一覧

2022/11/30

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
2022/11/18	あずさ部	富士五湖	尾崎時恵	後藤昭子
2022/11/25	湘南・沖縄部	金沢八景	大村 悠	黒川 勝
2022/11/30	湘南・沖縄部	厚木	倉林淳子	佐藤節子
2022/11/30	湘南・沖縄部	厚木	倉林康夫	佐藤節子

東日本区理事通信 2022年12月号

発行人：東日本区理事 佐藤 重良

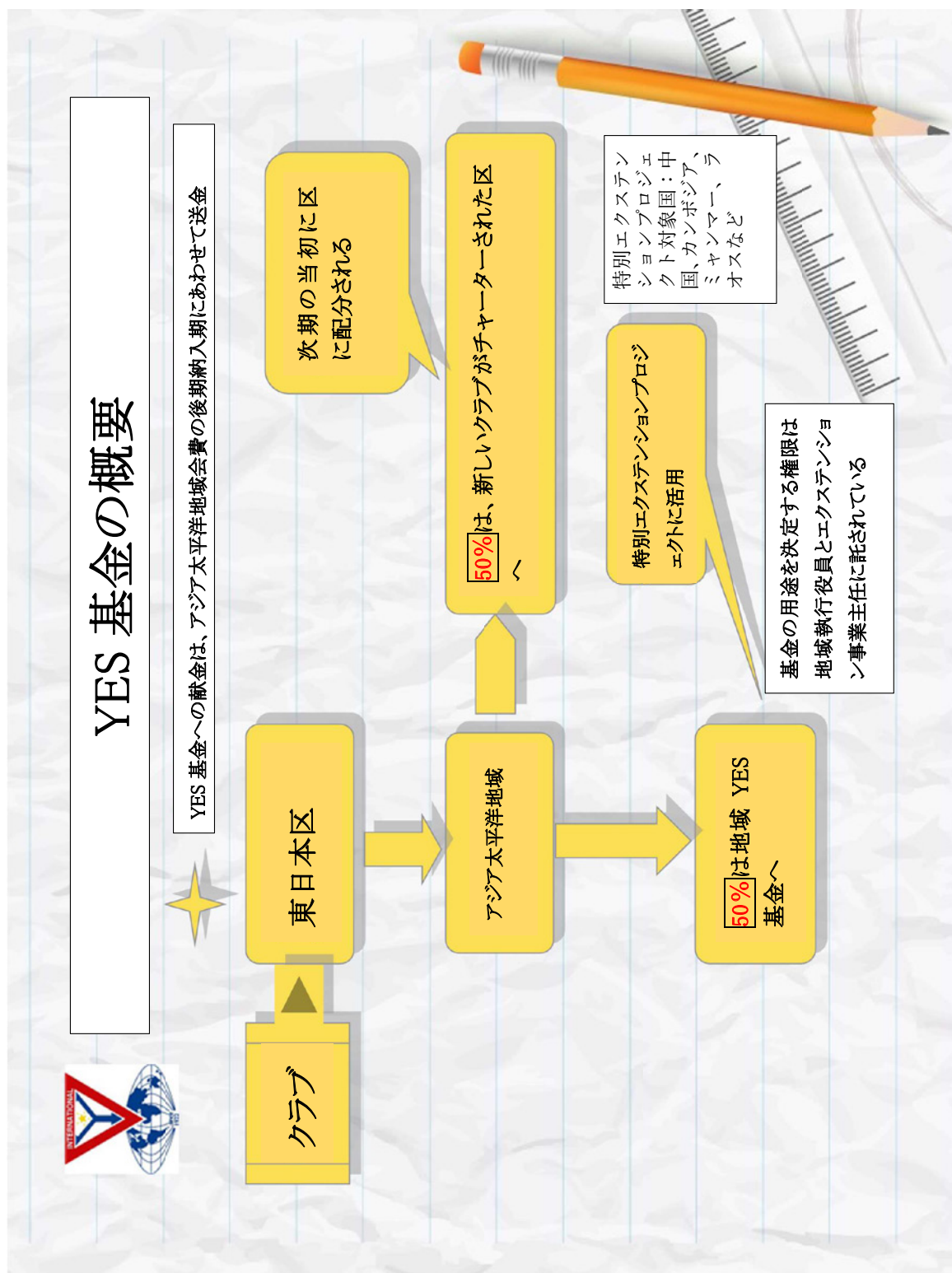
編集長：東日本区書記 清藤 城宏

掲載に関するお問合せは

①メール kuniseido@gmail.com

②FAX 050-3737-5829

2022年5月21日開催の2021-2022年度第4回アジア太平洋地域議会のYES新規則提案資料より（この会議で議決）



2022年5月21日開催の2021-2022年度第4回アジア太平洋地域議会のYES新規則提案資料より（この会議で議決）



第3回 神戸集合！ 東西日本区交流会

スローガン 語ろうワイズの未来！
ともに手を取り次の100年へ

2023年2月4日(土)～5日(日)
ANAクラウンプラザホテル神戸
神戸YMCA

登録費 20,000円

(宿泊費は含んでおりません)

受付開始 2月4日12:00

イベント開始 13:00

閉会予定時間 2月5日13:00



楽しい企画
もりだくさん！

4日午後
奉仕活動団体フォーラム
(ロータリー・ライオンズ・キワニス・ワイズ)
オープニングセレモニー
東西日本区25周年の歩み
ラオスプロジェクト発表
YMI100周年記念
/アジア太平洋地域事業の紹介
懇親会



プログラム詳細・申込はこちらへ！

5日午前
早天礼拝
分科会

- ・Y's Song Fest ♪一緒に歌いましょう！
- ・語ろうワイズの未来！
- ・ぶら神戸 (神戸の街を散策しよう！)

Y's x SDGs Youth Action 2022
IBC/DBC締結式
クロージングセレモニー

2022年にワイズメンズクラブ国際協会は100周年を、
東西日本区は25周年を迎えました。
次の100周年に向けて語り合いましょう！！



事務局 東西交流会実行委員会
Email:hirokazu@iris.eonet.ne.jp(古田)

第 17 回東京 YMCA 子育て講演会

玉川大学教育学部・教授
NHK・Eテレ「すくすく子育て」講師

大豆生田 啓友先生

子育て講演会



おおまめうだ ひろとも
講師：大豆生田 啓友先生

いまどきの子育てで大切なこと ～幸せ子育てのコツ～

一昨年からのコロナウイルス感染拡大に伴い私たちの環境は大きく変化し、コロナが収束しても、以前のような生活環境には、戻らないのではないかと予想します。加えて子どもを巻き込んだ痛ましい事件や戦争など、不安を掻き立てる要素はふえていくばかりです。そのような状況の中、子どもとどのように向き合い、何に価値をおき、どのような生活を送るべきなのか。子育てに関わる皆様へ、アドバイスをいただきます。

日 時：2023 年 1 月 28 日(土)

10:00～12:00

オンライン開催

参加費：無料

申 込：以下フォームよりお申込みください。
＊お申込みされた方へ、後日 URL をお知らせ致します。

<https://bit.ly/3UViBgS>

東京 YMCA の子育て講演会について

東京 YMCA の子育て支援の一つとして、2007 年より開催し今年で 17 回目を迎えます。この「子育て講演会」は子育ての主役である保護者の方々に「自信や勇気をもって子育てをし、ご自身も輝いてほしい」という願いから、継続的に開催しております。また、特にその後の人間形成に大きく影響を与える幼児期の子どもを持つ保護者を対象にして参りました。

子育て講演会の企画・立案・実施におきましては、志を同じくする会員とよばれる YMCA をお支えいただいている人たちと私ども職員が協働で実行委員会を組織し、変化する社会状況を見据え、講演を計画してまいりました。

東京 YMCA 会員部（子育て講演会事務局）

kosodate@tokyoyymca.org

公益財団法人 東京 YMCA 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 Tel 03-6278-9071 FAX 03-6278-9072

